

## 令和3年度【音楽】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1年生	<p>①集中力が続かない生徒が一部見られる。活動内容の理解に差があるように感じる。</p> <p>②歌唱では積極的に歌う生徒が多いが、パートごとの練習が不十分である。</p> <p>③音符や休符、音楽用語の読み方や意味に対する理解などは個人差がある。</p> <p>④鑑賞ではワークシートの記入が丁寧な生徒が多い。一方で楽曲を聴いて感じたことを言語化していくことが難しく、ほとんど記入できない生徒もいる。</p>	<p>①活動の内容や順番を提示し、評価のポイントや到達目標をわかりやすく示すよう心がける。</p> <p>②感染対策をし、歌える環境づくりを工夫する。</p> <p>③活動中に音符や休符、音楽用語等の基礎基本がわかるよう、毎時間で確認する時間をとる。</p> <p>④鑑賞の視点を明確にし、どうしても言語化が難しい生徒には、友人の考えからもヒントをもらい、自身に考えるきっかけを与えられるよう、授業展開を工夫する。</p>	
2年生	<p>①本時の目標を意識し、意欲的である。内容がわからない時には積極的に質問をする場面も増えた。一方で、提出物の回収状況が良くない。</p> <p>②歌唱では昨年度より混声の響きがきれいになった。しかし、パートごとの練習が十分に行えなかったため、音程に自信もって歌唱できなかった生徒もいた。</p> <p>③鑑賞では、細かく丁寧にワークシートの記入をする生徒が増えてきた。一方で楽曲を聴いて感じたことを言語化していくことが難しい生徒もいる。</p>	<p>①本時の見通しをもたせ、評価のポイントや到達目標をわかりやすく示す。また、提出物の呼びかけを徹底する。</p> <p>②感染対策をし、歌える環境づくりを工夫する。密にならないパート練習の方法を考え、改善する。</p> <p>③鑑賞の視点を明確にし、生徒自身に考えるきっかけを与えられるように工夫する。</p> <p>④ICT機器の活用を増やし、グループ学習なども活発にしたい。</p>	
3年生	<p>①全体的に意欲的に授業へ参加しており、発言も活発である。提出物もしっかり出ている。一方で、提出を忘れる生徒は限られてきてしまっている。</p> <p>②器楽では活動を楽しむ生徒がいる一方で、ギターに苦手意識をもつ生徒もいる。</p> <p>③鑑賞では、全体的にワークシートの記入がしっかりできている。今後は説明されたことだけでなく、さらに自分の感想や疑問点を批評文に盛り込めると良い。</p>	<p>①提出物の呼びかけを再度徹底する。評価や到達目標がわかりやすいワークシートの作成を工夫していく。</p> <p>②ペアなど意見の共有や苦手な生徒に教え合う機会を増やす。器楽の活動に限らず様々な活動で、生徒自身の思考・判断・表現の力の育成を目指す。</p> <p>③自分の意見と友達の意見を共有させる時間を多くとり、色々な視点や考え方があることを気付かせる。</p>	

